

足柄上地区在宅医療・介護連携センターだより⑧

秋山正子先生 / 樋口恵子先生・袖井孝子先生来たる

『「生きることを支えるために
つながるケア」の魅力を伝える』
令和4年10月4日開催

『人生100年時代の
社会参加と生きがい』
令和5年1月28日開催

専門職(多職種)研修会
大井町生涯学習センターホール

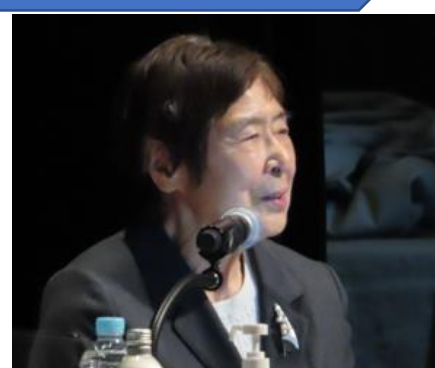
地域講演会
南足柄市文化会館大ホール



㈱ケアーズ 白十字訪問看護ステーション
暮らしの保健室/ 認定 NPO 法人 マギーズ東京



NPO法人 高齢社会をよくなる女性の会
理事長 樋口 恵子 先生・副理事長 袖井 孝子 先生



秋山 正子 先生 (マギーズ東京花畑プロジェクトの花束と供に)

◆秋山正子先生には、5年ぶりに、足柄上地域にご来訪いただき、ご高話をいただきました。関係者のご支援、ご協力のもとに、久しぶりに、専門職が一堂に会する研修会となりました。(参加者 86 名) ■秋山先生は、「暮らしの中で療養する人・家族を支えるケア」を熱く語られました。NHK プロフェッショナル仕事の流儀の一場面も放映され、人生の最終段階を温かく自然なものにすること(家族・近隣の参加+プロのサポート)と健やかに生き抜いた最期を支える地域サービスの充実を強調されておられました。

◆高齢社会の問題に取り組んでこられた「NPO 法人高齢社会をよくなる女性の会」理事長の樋口恵子先生と副理事長の袖井孝子先生にご高話をいただきました。日本列島が10年に一度の寒波に見舞われる中、足柄の地にご足労を賜り、コロナ禍にあっても講演会を開催することが叶いました。(参加者 212 名) ■袖井先生は、高齢者がサービスの受け手ではなく、主体として積極的に社会にかかわり、社会の担い手となりうるような老若男女共同社会の構築をめざして活動され、『「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり』が明るい未来への展望に結びつくことを提唱されています。資料を示されて、わかりやすくご講演いただきました。 ■樋口先生は、「人生100年時代」「ダイバーシティ(多様性)の推進」など、超高齢社会の今、時代を的確に表現した言葉を発信されています。「健康寿命」は、平均寿命から、要介護状態を差し引いた期間であり、男性は約9年、女性は約12年、「ヨタヘロ期」を過ごすことになります。男女の差を縮め、男女とも健康寿命を延伸させることなど、気がついたことを指摘し、若い世代や社会への問題提起をされました。講演会場の臨場感を満喫されておられました。

図書の紹介

ご講演いただいた先生方のご著書

・秋山正子先生の講演会当日に取り扱いましたご著書を揃えました。

- 1 「つながる・ささえる・つくりだす
在宅現場の地域包括ケア」(医学書院)
- 2 「在宅ケアのはぐくむ力」(医学書院)
- 3 「在宅ケアのつながる力」(医学書院)
- 4 「在宅ケアの不思議な力」(医学書院)

・樋口恵子先生からご著書をご寄贈いただきました。

- 1 「老いの福袋、あっぱれ! ころばぬ先の
知恵 8.8」(中央公論新社)
- 2 「老いの玉手箱」(中央公論新社)
- 3 「90 歳、老いてますます日々新た」
(柏書房)
- 4 「老〜い どん!」(婦人之友社)
- 5 「どっこい生きてる 90 歳」
(婦人之友社)

地域映画上映会

令和4年 11月26日(土)
大井町生涯学習センターホール
(参加者 181名)

信友直子監督よりメッセージ

ひとつの家族の映像が、はからずも今という時代を映す鏡となりました。娘のカメラだからこそ、コロナ禍でも母が旅立つ瞬間に立ち会えました。60年連れ添った父と母の、あたたかな別れ、私も泣きながら撮影しました。人はみな、生きて、老いて、死んでゆく…。その営みにこれほどの美しさがあることに肅然とする思いでした。「介護はきっと、親が命懸けでしてくれる最後の子育てなんだよ」。これは人生の先輩がくれた言葉ですが、本当に晩年の母との日々は、今思えば神様からの贈り物でした。そして、残された父です。99歳で恋女房を亡くしましたが、それでも人生は続いてゆきます。父が悲しみから立ち上がっていく勇姿もぜひ伝えたいと思いました。だから父の冗談を、笑顔を大切に記録しました。2022年、父はおかげさまで元気に暮らしております。母は今日も仏壇から、とびきりの笑顔をふりまっています。不思議なことに私の中にあるのは、母を失った悲しみよりも、母がいつでもそばで見守ってくれているという安心感です。この映画を丁寧に作ったことが、思いがけず良いグリーフケアになったのかもしれません。

みなさまそれぞれの大切な人を思いながら、かけがえのない日常を一緒に体感していただければ嬉しいです。

その他 令和4年度 足柄上地域の在宅医療・介護連携にかかる専門職(多職種)研修会 オンラインで開催しました。

1 日時 令和5年1月30日(月) 参加者 53名

高齢者入所施設情報交換会・グループホーム情報交換会合同企画

(1)「認知症のある方の精神科病院の入退院支援・通院支援」

講師 認知症疾患医療センター(地域拠点型)

公益財団法人積善会 曾我病院 福祉医療相談室 田中 香枝 氏

(2)「認知症の人への食支援 ～ 個別対応の視点 ～」

講師 医療法人社団 帰陽会 老人保健施設にじの丘足柄

/ 宙(コスモス)訪問看護ステーション

リハビリテーション科 科長 船橋 庄司 氏

2 日時 令和5年2月14日(火) 参加者 40名

訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所情報交換会合同企画

「高齢者虐待・虐待の疑いについて - グレーゾーンの事例に学ぶ -」

講師 神奈川県小田原保健福祉事務所足柄上センター

保健福祉課長 西田 統 氏



感染症対策研修会に『手洗いチェッカー』を利用しませんか。

新型コロナウイルス感染症の拡大は収束してきましたが、健康に過ごすためには、感染症の予防は大変重要です。新型コロナウイルス感染症のほか、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染症予防には、施設、事業所等において万全の対策を講じておられることと思います。

感染症予防は、意識を高めて実践していくことが大切です。日々繰り返し行っている手洗いが有効になされているかを確認する「手洗いチェッカー」を貸し出しています。

ご予約の上、ご活用ください。

足柄上医師会のホームページに借用書等一式を掲載しています。



地域の職能団体の紹介

「あしがらケアマネジャー連絡会」

あしがらケアマネジャー連絡会は、介護保険サービスを受ける高齢者を支援し、利用者及びその家族に対して最善・最適な居宅サービス計画を提供するため、会員相互の連携を図り情報交換や研修等の機会を設けることにより、地域福祉の向上に寄与することを目的としています。足柄上地区内の居宅介護支援事業者(地域包括支援センターを含む)及びその職員並びに介護支援業務に係わり、連絡会への参加を希望する方であれば、どなたでも入会できます。通常の年会費等の徴収は行っていません。

連絡会では、・居宅介護支援事業所等の運営に必要な情報交換、・会員の資質向上に必要な研修、講演会等、連絡会の目的を達成するために必要な事業等を行っています。

令和4年度は、BCP、高齢者虐待防止等について学びを深め、地域映画上映会の後援も行いました。

足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターが事務局を担っています。

連絡先

足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター TEL 0465-43-8172